


主なサクラの特徴と見分け方

	花の色と形	葉の形	葉柄	鋸歯
ヤマザクラ 山桜 ・ 野生種	 <p>花弁はほぼ白色。萼片は三角形を帯びて長く、すらりとした印象。無毛で鋸歯はない。萼筒は細い筒状のつりがね形で長さ6～7mm、無毛。小花柄も無毛。</p>	 <p>先端は徐々に細まり尾状に長く伸びる。両面とも無毛。裏面は白味が強い。</p>	 <p>葉柄は無毛で細い</p>	 <p>鋸歯は上向きに伏せ細かいので目立たない。先端はやや伸びる。</p>
オオヤマザクラ 大山桜 ・ 野生種	 <p>花弁は淡紅色。萼片は三角形を帯びて細く、長さ4～6mm。無毛で縁に鋸歯が無い。萼筒は筒状の釣鐘型で無毛、赤味が強い。小花柄も無毛</p>	 <p>先端は徐々に細まり尾状にのびる。両面無毛。裏面は白味が強く光沢はない。付け根は丸いかハート型</p>	 <p>葉柄は無毛。</p>	 <p>鋸歯は三角形で外向きに開いて目立つ。先はあまり伸びない。</p>
カスミザクラ 霞桜 ・ 野生種	 <p>花弁は白色のものが多い。萼片はやや三角形を帯びた楕円形で長さ5～5.5mm。縁には鋸歯がないか、あっても少数で鈍い。萼筒は細い筒状のつりがね状でやや丸みがある。小花柄には開いた短い毛がある。</p>	 <p>先端は急に細まり尾状に伸びる。両面、特に裏面の脈に毛が多い。裏面は淡い緑色。</p>	 <p>葉柄は開いた短い毛がおおい。</p>	 <p>鋸歯は三角形で外向きに開き目立つ。先はほとんど伸び</p>

<p>オオシマザクラ大島桜・野生種</p>	 <p>花弁は白色のものが多く大形で、長さ2 cm に達するものがある。萼片は大型で長さ7～10 mm、縁に鋸歯が目立つ個体が多い。萼筒は細い筒状のつりがね形、大型で長さ7～11 mm、無毛。小花柄も無毛。</p>	 <p>先端は徐々に細まり尾状に伸びる。両面無毛。葉に厚みがあり裏面は淡い緑色でやや光沢がある。</p>	 <p>葉柄は無毛</p>	 <p>鋸歯は外向きに開き、先が糸のように長く伸びるのが特徴。</p>
<p>エドヒガン江戸彼岸・野生種</p>	 <p>花弁は淡紅～白色で変化が多く、小型で長さ13 mm以下。萼片は三角形の卵形で小型、長さは3～5 mm。縁に細かい鋸歯が多い。萼筒は長さ5～7 mmの壺形で玉のように膨れた部分は直線部分より大きい。開いた毛が密にある。小花柄はやや上向きの毛が密生。</p>	 <p>右の葉は徒長枝の葉で、ヤナギのように細長い。左の短枝の葉の枝先は徐々に細まり尾状にならない。</p>	 <p>葉柄には上向きの毛が密にある。</p>	 <p>鋸歯は細かく上向きに伏せた三角形。先は尖るが鈍い。</p>
<p>ギョイコウ御衣黄・栽培種</p>	 <p>花弁は淡い黄緑色で明らかな緑色の筋模様が入る。緑色部分は面積が広い。雄しべは正常で短く約3 mm。雌しべも正常で長く突き出す。萼片は短い卵形でふつう縁に鋸歯がないが、一部に鋸歯のある花も混ざる。萼筒は小花柄とともに無毛</p>	 <p>先端は急に細まり短い尾状。両面とも無毛。裏面は白味が強い</p>	 <p>葉柄には毛が無く、やや長めで25～35 mm</p>	 <p>上向きの単鋸歯と重鋸歯が混ざる。先端は長く伸びる。</p>
	<p>花の色と形</p>	<p>葉の形</p>	<p>葉柄</p>	<p>鋸歯</p>

<p>フ ゲ ン ゾ ウ 普 賢 象 ・ 栽 培 種</p>	 <p>外側の花弁は淡いピンク色、内側のものはほぼ白色。雄しべは先端が伸び白色、20本以上。雌しべは通常2本で上部まで葉に変化する。萼片は大型で長さ9～10mm、先端は鋭く尖り、縁に鋸歯が目立つ。鏝筒はろうと形で凹凸が目立ち、小花柄と共に無毛。</p>	 <p>先端は急に細まり短い尾状。両面は無毛。中央よりやや上で幅が最大</p>	 <p>葉柄には毛が無く長さ25～35mm</p>	 <p>主にやや上向きの重鋸歯 先端は長く伸びる。</p>
<p>ソ メ イ ヨ シ ノ 染 井 吉 野 ・ 栽 培 種</p>	 <p>花弁は白色に近い淡いピンク色で楕円形。萼片は5～6mmで細長く、先端は尖るがやや鈍い。縁に著しい鋸歯が目立つ。鏝筒は長さ7～8mmでわずかにつぼ型をおびた筒形で膨らみ部分は縦に長く、短毛が多い。</p>	 <p>先端は徐々に細まり尾状にならない。裏面は無毛。裏面の脈状のみ有毛。中央で最も幅が広く丸みをおびる。</p>	 <p>葉柄には上向きの柔らかい毛があるが、夏以降にはまばらになる。</p>	 <p>浅い重鋸歯が密にある。先は鋭く尖りやや伸びる。</p>
<p>カ ン ザ ン 関 山 ・ 栽 培 種</p>	 <p>花弁は濃いピンク色。ねじれやうねりがあるが先端は巻き込まない。雌しべは通常2本で葉に変化するものが多いが、正常なものもある。萼片の縁は鋸歯が無く内側に巻き込む。鏝筒は漏斗型。</p>	 <p>先端は急に細まりごく短い尾状。両面は無毛。付け根はやや広い楔形。裏面は白身が強い</p>	 <p>葉柄には毛が無く、長さ22～28mm</p>	 <p>鋸歯はやや開いて浅く、数が多い。先端は長く伸びる。</p>